中日スポーツ杯 新春選抜リーグ

完全試合 小松

11年ぶり3人目の快挙

菊水化学工業

完全試合を達成した菊水化学工業の小松㊨と捕手で主将の小塚＝名古屋市熱田区の熱田愛知時計120スタジアムで（堤誠人撮影）

軟式野球の第65回中日スポーツ杯争奪愛知県新春選抜リーグ戦第7日は14日、名古屋市熱田区の熱田愛知時計120スタジアムで3試合が行われ、菊水化学工業の小松詢投手(29)が東郷製作所戦で完全試合を達成した。大会では11年ぶり、3人目の快挙。チームは1―0で今大会初勝利を挙げた。イスコジャパンとニデックは1―1で引き分け。小林クリエイトは終盤の連続本塁打などで三京アムコに6―2で逆転勝ちした。

強打許さず97球

二段モーション気味の横手から内外角へ絶妙に投げ分けた菊水化学工業の小松が、97球で完全試合を達成した。大会では2013年にイスコジャパンの野島大介投手がフタバ産業戦で記録して以来の快挙。「東郷は、甘く投げたら打たれる。コースをきっちりと投げ分けることを意識して、持ち味のコントロールを重視した」と制球力を生かし、優勝経験のある古豪を寄せつけなかった。

バックも好カバー

強い打球を打たせなかった。6回の先頭は自身が弾いた打球を二塁手の菱田が好カバー。8回2死で相手の二刀流指名打者・久保田に3ボールとなったが、落ち着いてフルカウントから二飛に仕留めた。7奪三振、内野ゴロが12、内野飛球が7、外野飛球が1と持ち味を発揮。捕手で主将の小塚との呼吸もぴったりだった。

178センチ、68キロ。京都・洛水高では2年夏の京都大会16強が最高で、愛知東邦大では1部の経験がなかった。完全試合は数年前に記録して以来、自身2度目だという。

見事に有言実行

今大会で唯一の未勝利だったチームを鼓舞しようと、試合前に「完全試合をやってきます」と宣言。川口監督が「以前はよく言っていたが、最近はあまり言っていなかった」と話したほどだったが、有言実行でチームの士気は高まった。「この1勝は大きい。勢いをつけられたと思う」。首位から最下位まで勝ち点2差の大混戦で、台風の目となる可能性は十分だ。（堤誠人）

【東郷製作所】打安点
(遊) 飯田 3 0 0
(中) 近藤生 3 0 0
(一) 牧山 3 0 0
(右) 手崎 3 0 0
(三) 野瀬 3 0 0
(指) 久保田 3 0 0
(左) 小代田 3 0 0
(二) 近藤柊 3 0 0
(捕) 池上 3 0 0
振球犠併残
7 0 0 0 0 27 0 0

【菊水化学工業】打安点
(遊) 江川 3 0 0
(左) 田中 3 0 0
(中) 冨依 2 0 0
(捕) 小塚 3 2 1
(三)―柳沼 3 0 0
(右) 伊藤 2 0 0
(指) 渡辺 3 2 1
(一) 浜田 2 0 0
(二) 髙木 0 0 0
(三) 菱田 3 0 0
振球犠併残
2 2 3 0 4 24 2 1
三渡辺 盗菊1 失東2

投 手回 打安失
久保田 8 29 2 1
小 松 9 27 0 0

【小林クリエイト】打安点
(二)(中) 都築崎 4 1 0 2
(打中) 浜島 4 2 0 2
(三)(右) 牛都 1 0 0 0 0
(一) 川嶋 0 0 0 0 0
(右) 杉西 3 0 0 0 0
(指) 大本 4 4 1 2
(左) 宮西 4 4 3 1 0
(捕) 宮城 4 4 0 0 0
(遊) 奥野 4 4 0 0 0
(捕) 葛田 3 1 0 0
振球犠併残
5 3 0 2 5 35 8 5

【三京アムコ】打安点
(一)(二) 藤沢 4 1 1 0
(指) 牛島 4 0 1 0 0
(三) 藤江 4 3 1 0 0
(右) 吉野 4 0 0 0
(捕) 鶴田 4 2 1 0 0
(中) 村上 3 0 1 0
(三) 松山 3 1 0
(左) 山口 2 0 0
(左) 後藤 3 0 0
振球犠併残
5 4 1 0 4 28 4 2
三浜崎 三松山 侑 盗
小1、ア2 失ア2
暴南出

投 手回 打安失
杉 田6 24 4 2
青 島0 1/3 1 0 0
八 木2 2/3 8 0 0
山本淳5 18 4 0
南 出2 2/3 14 3 5
松 原1 1/3 6 1 1

【ニデック】打安点
(中) 竹内 4 0 0 0
(三) 加藤 3 0 0 0
(右) 泉 3 1 0 0
(一) 土井 4 1 0 0
(左) 杉本 4 4 0 0 1
(遊) 越智 3 3 0 0 0
(捕) 水谷 3 0 0 0
(二) 山下 2 2 1 0 0
(指) 房野 2 1 0 0
打指高木翔 1 0 0
振球犠併残
3 4 0 1 5 29 3 1

【イスコジャパン】打安点
(左) 山崎 3 1 0 0
(中) 新垣 3 1 0 0 0
打中 林 1 0 0 0
(二)(一) 勢田 0 3 0 0 0
(捕) 小川 3 3 0 0 0
(指) 川村 1 0 0 0
打(捕) 長嶋 4 2 0 0 0
(指) 近藤雄 2 1 1 0
打(右) 古川 2 1 1 1
(三) 吉田悠 4 2 0 0
打(遊) 尾野 2 1 0 0 0
(遊) 徳浪 2 1 0 0
振球犠併残
5 4 1 1 7 30 6 1
盗ニ1、イ1

投 手回 打安失
大 竹5 2/3 22 0 0
早矢仕1 2/3 6 3 0 1
春 田1 2/3 7 3 1
伊 藤9 33 3 1

ニデック（2勝1敗1分）
0 0 0 0 0 0 0 0 1
0 0 0 0 0 0 0 0 1
イスコジャパン（1勝2敗1分）
0 0 0 0 0 0 0 0 1
（本塁打）古川（イ）
小林クリエイト（3勝2敗）
0 0 0 0 0 0 6 0 6
三京アムコ（1勝2敗1分）
0 0 0 0 1 0 0 0 2
（本塁打）大西、宮城（小）藤沢（ア）
東郷製作所（2勝3敗）
0 0 0 0 0 0 0 0 0
菊水化学工業（1勝2敗1分）
0 1 0 0 0 0 0 0 x 1

少年野球記録コーナー

◇スギモト杯少年野球大会新人戦(13、14日・志段味スポーツランドほか)＝中日スポーツ後援▽Bリーグ（5年生以下）ブラックサンダーズ8―0木曽川JBC、富士シャーク16―0BSO、名西ヤンキース5―4北翼ユニオンズ、横須賀ブラザーズ5―4蟹江南JBC、ブラックサンダーズ5―1一宮イーグルス、名古屋ウエスタンズ6―3六反ファイターズ▽Cリーグ（4年生以下）春日井オルティーズ7―6日高レッツ、石ヶ瀬スポーツ少年団9―8東海中央ジュニア、守山ボーイズ①3―1平針ITBC少年野球クラブ、春日井オルティーズ9―2亀の子少年野球クラブ、一宮イーグルス5―3名古屋ドジャース①、高蔵アローズ19―2蟹江北サンボーイズ、ときわイーグルス9―4守山ボーイズ①、北翼ユニオンズ3―2守山ボーイズ②

イスコ古川が代打同点ソロ

㊥…イスコジャパンの古川＝写真＝が、9回2死から起死回生の代打同点ソロ。「自分の仕事はそれしかない。流れが変わるように、初球からしっかり集中した。打った瞬間に（左中間席へ）行ったと思った」と振り返った34歳のベテランは、腕を突き上げながらダイヤモンドを一周した。9回に失策絡みで先制点を許したものの、7回まで無安打投球を続けた伊藤の好投も敗戦を免れた要因。左腕は「ツーシームで空振りが取れた。（本塁打は）うれしかった。次は完封したい」と笑顔だった。